

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年3月27日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4673900082
法 人 名	医療法人 クオラ
事 業 所 名	グループホーム アリエ
所 在 地	鹿児島県薩摩郡さつま町船木2311番地8 (電 話) 0996-52-1262
自己評価作成日	平成29年2月14日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	N P O 法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成29年3月7日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

- ・職員が資格取得に向けて努力している。
- ・季節に応じて、なるべく全員参加ができる行事を計画している。
- ・年1回、家族会を開催し、ご家族様、ご利用者様、職員が親しく交流できる場を設けている。
- ・アリエ便りを年4回発行し、取組の報告を行っている。
- ・ご利用者様の特技を活かせる場を作っている。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

- ・当事業所は、母体法人の医療機関敷地内に建っており、他にも介護老人保健施設や訪問看護事業所・訪問介護事業所等を運営し、地域の医療と高齢者福祉の一端を担っている。保育園や職員住宅も隣接している。定期的な訪問診療など、協力医療機関との連携が構築されており、災害時の相互協力体制もできている。
- ・さつま町で、毎月開催される健康教室などの行事にも積極的に参加する一方、夏祭りなどの法人の行事にも、多くの地域の住民が参加するなど日常的に交流している。地域サポートー養成講座の講師として、行政と共に活動も行っている。
- ・管理者は職員育成に力を入れ、資格取得に向けた支援を行っている。福利厚生も充実しており、併設の保育園で育児中の職員も安心して勤務できる。職員は利用者が第2の自宅として、その人らしい生活ができるように支援している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	アリエ独自の理念がある。また、目標という形で地域密着・地域貢献への理念を掲げている。全体会等や申し送り時などに唱和し、意識づけを行っておる。	法人全体の理念と、事業所独自の理念を玄関やホールに掲示している。毎年具体的な目標も作成している。年2回の個人面談で振り返り、全体会等で唱和し、共有して実践につなげている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	保育園の運動会、グループ内行事（夏祭り・踊り慰問）参加している。保育園の子供と気軽に挨拶したり、会話をされる。介護支援ボランティアの方との交流も大切にしている。	地域の行事や保育園の運動会・健康教室などに積極的に参加している。中学生の職場体験学習や看護学生の実習、月2回、介護支援ボランティアの受け入れも行い、日常的に地域と交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	認知症サポーター講座のキャラバンメイトとして、地域に向けて活動している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行政、地域の方々、ご家族様から貴重な意見を頂き、参考にしている。事故について意見を頂く事もあり、会議等で再度検討し、向上に繋げている。	会議は定期的に開催している。事業所の状況や外部評価の報告などを行い、地域行事の情報等も得ている。参加者から多くの助言や提案が出され、挫創についての説明をしたり、認知症について地域でどうしたらよいかわからないとの意見も多いので対応策を考えたり、サービス向上に活かしている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	委員会や役場に出向いた時に会話をし、サービスの質の内容について話をしている。特記事項があった場合は、その都度報告している。また、運営推進会議も有効に活用している。	町の担当者には、必要に応じて電話や窓口に出向き、情報を交換して助言を貰っている。運営推進会議を通して協力関係もでき、町と協働して認知症センター養成講座、認知症フォーラムなどにも取り組み、協力関係もできている。グループ協議会の役員も担い勉強会を実施している。町主催の研修会にも積極的に参加している。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	毎年3月に身体拘束を含む全職員を対象とした研修が実施される予定である。詰所内に身体拘束廃止に関する掲示を行い、意識づけに努めている。事故対策等でもご利用者様の気持ちを第一に考え拘束が起きないケアに努めている。	倫理委員会で毎年、身体拘束も含め研修会を行い、職員の共通認識を図り、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。身体拘束廃止に関する掲示をしている。言葉による拘束についても日々確認している。日中の玄関の施錠はせず、外に出ていく利用者がいても寄り添いさりげないサポートをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている。	毎年3月に権利擁護の研修が実施される。敬う気持ちを持つことを日々心掛け、日常から申し合わせている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	頂いた資料などをファイルに綴じ、他職員が閲覧できるように設置している。毎年、権利擁護研修が行われている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	充分に説明を行っている。その上で質問があった際などは、しっかり答えられるようにしている。解約・改正の際はその都度説明するようにしている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	苦情等については、しっかり受け止め、フローチャートに沿って処理している。また、運営推進会議や家族会でも質疑応答を行い、定期面談を行い、個別意見を収集している。	利用者からは日々の関わりの中で意見や要望を聞き、家族からは面会や家族会・電話・アンケートなどが意見を聞く良い機会となっている。「アリエだより」で近況報告をし、返信をもらっている。利用者の習い事等の情報を職員で話し合い、楽しみに反映させている。意見箱もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者はや管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>全体会を中心に意見を聞いている。また、常日頃会話で情報交換をしたり、電話、メールのやり取りを行う等している。その意見は、グループミーティングで上司に報告している。</p>	<p>申し送りやユニットごとのミーティング・全体会等で職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映を図るよう心がけている。出された提案や要望で災害時対策として、浴槽に水を溜めて災害に備えておく事や褥瘡など症状に合わせての勉強会を実施し反映させている。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働くよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>年2回の人事考課表を作成し、職員が向上心を持って働くように取り組んでいる。自己アピール表もある。</p>		
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年内研修予定表を基に、様々な研修や内部(グループ)の研修に参加できるように計画されている。介護福祉士取得に関しては事業所の補助金制度あり。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地域の協議会や主催する研修などを通じて意見交換をする機会を作っている。(いづみ川薩グループホーム協議会入会)(日本グループホーム協議会鹿児島県支部入会)</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居前の担当CM、施設等から情報収集を行っている。職員が、入居前にご本人の状態確認に行ったり面談も行い顔見知りになり、ご安心頂ける様に努めている。入居時には歓迎会を開き、普段から傾聴に心掛けている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前に、ご本人の意見やご家族様の意見をお聞きし、何でも話せる信頼関係づくりに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	身体状況は変化が出てくることを契約時に説明し、現在のサービス以外も紹介している。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	調理の仕方(味付け等)を教えて頂きながら一緒に作業をしたり、昔の遊びや知恵、歌や踊り、大正琴を教えて頂いている。家庭菜園・季節の花植えも一緒に行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族様へ定期的な連絡をしている。病院受診をお願いしたり、昔のご様子、趣味等をお聞きして職員と今後の生活に反映出来ないか検討している。イベント行事、家族会へ参加の連絡を行っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族様に、ご相談し、御親戚の方やお友達をアリエにお連れ頂く様にしている。	利用者から事前に馴染みの場所や人などを聞き、行きたい所へドライブしたり、墓参りや美容室などに職員が同行している。親戚や友人知人の訪問の際には、お茶を出している。手紙や電話の取次ぎなども行っている。家族の協力を得て外食や美容室・墓参・法事などに出かけている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	全員レクリエーション等を行い、交流の機会を増やしている。トラブルが発生したら原因や状況を把握し、職員が双方の話を聞き解消に努め他のご利用者様に影響しない様に努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	病院に入院された方には、お見舞いをしたり、ご家族様とお会いした時は、話をしたりしている。他の施設に入所された時は面会に行くなどしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容

III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>日々のコミュニケーションからご本人様の希望や意見等を拾い上げるようにしている。ご家族様からの希望・意見の傾聴も行っている。記録は色を変えるなどして拾い上げやすい様にしている。</p>	<p>日々の暮らしの中で、言葉や表情などから思いや意向の把握に努めている。家族や関係者からの情報も得て、入浴時やくつろいでいる時・利用者が眠れない時等に話を聞き、記録し職員で情報を共有し、本人中心の支援を行っている。大正琴や囲碁・将棋などの楽しみ事を聞き取り入れている。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている</p>	<p>ご入居前にご本人様、ご家族様にお尋ねしている。又ご入居後も日頃の会話から生活歴などをお伺いしている。ご入居前のケアマネからも情報収集をおこなっている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている</p>	<p>看護介護記録、健康管理チェック表に目を通すなどして情報把握に努めている。重要事項は申し送りなどして情報を共有している。(サイボウズにて)</p>		
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>日々のご利用者様の思いや情報を踏まえた上で、職員同士で情報交換をしたり、チーム会議や全体会で話合っている。ご家族様のご面会時に伺ったり、訪問診療や外来受診等を利用して、医師・訪問看護師と連携している。毎月、ケア会議を実施している。</p>	<p>本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、個々に応じた介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し、6ヶ月毎に見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>情報を共有し、見直しに活かしている。本人様の心理、自立支援を考え話合いを行っている。特記事項は念入りに個別記録の作成を行っている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>計算ドリル・数並べ・パズル等を活用したり、ラジオ体操、PT・OTから教えて頂いた運動、身体機能維持のためのアドバイスを実施している。クオラグラープとしての強みを生かしている。訪問看護とも連携を取つてアドバイスを頂いている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>運営推進会議を通して触れ合い、介護支援ボランティアの方にも2か月に1回お越し頂いている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>2週間に1回の訪問診療を受診している。緊急時は医師の指示のもと病院受診を行っている。ご家族様からの疑問がある時には、直接医師から説明するなどの対応を行っている。</p>	<p>かかりつけ医は本人及び家族の希望で、母体医療機関が主治医となっている。定期的に訪問診療を受けている。他科受診は家族の協力を得て支援している。訪問看護師の訪問で健康管理をするなど連携が図られ、適切な医療が受けられるよう支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	訪問看護による週1回の体調チェックがあり相談しアドバイスを頂いている。病院受診や夜間帯などでは、病院看護師にも相談する。身体状況の定期報告も行っている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	ご本人の様子を直接見に行き状態確認を行ったり、病院のソーシャルワーカーと連携を取ったり、話し合いをしている。病状に合わせて必要時には他の医療機関と連携が取れるようにしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいく	重度化した場合の対応を、契約時に行っている。看取りの指針を活用している。疼痛や苦痛を少しでも和らげる為、家族にも依頼し面会等で支えられるよう努めている。状況の変化に応じて面談の機会を設けている。	契約時に重度化に伴う対応の指針を説明し、同意書を貰っている。状況変化に伴い段階的に本人や家族・医師・看護師・職員で話し合い、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。看取りの事例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急対応マニュアルを作成している。連絡網の活用の訓練を実施している。急変の場合に備え、上司・先輩職員が指導し確認を行っている。緊急の場合を想定し、他施設・社宅入居者からの協力が頂ける様にしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	消防署員立ち会いのもと年2回の避難訓練を実施。連絡網の訓練で強化している。出勤前には災害時のトレーニングを行い災害に備えている。さつま町社会福祉協議会防災対策協議会に年1回参加し、さつま町の福祉施設と意見交換し合ったり、他施設の訓練の見学を行っている。	年2回消防署の指導のもと、昼夜想定の避難訓練を実施している。出勤前や夜勤時にはマニュアルを確認して、災害に備えている。法人全体での合同訓練や敷地内の社宅との協力体制が整っている。スプリンクラーや自動火災報知機、火災通報装置も設置されている。災害時の水や米・缶詰・レトルトカレー・缶詰などの備蓄もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	<p>○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保</p> <p>一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている</p>	ご本人のプライドやプライバシーを尊重し一人一人敬った声掛け、さりげない介助に努めている。日頃のケアの中では、先輩職員が指導を行っている。	接遇委員会でマニュアルに沿って研修を実施し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけやケアに取り組んでいる。居室に入る際には声かけをし、トイレや入浴・排泄などでは羞恥心に対する配慮を行っている。	
37		<p>○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている</p>	衣類を自分選べるようにタンスに名前を書いてわかりやすいように工夫している。料理の本を見ながら職員と一緒に献立を決めたりしている。		
38		<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	ご本人の生活のリズムに合わせた対応をしている。ご本人の訴えに沿い(言葉・表情・行動・態度から)支援している。		
39		<p>○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している</p>	定期的に爪切り、耳掃除、髭剃りを行っている。外出時や必要時に化粧をしている。日頃からご本人様に洋服を選んで頂いている。2~3か月に1回の頻度で、美容師にきてもらい散髪をして頂いています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	野菜切、盛り付けを職員と一緒にやって頂いている。食後のお皿拭きを手伝って頂いている。お誕生日会の時は、ご本人の好物の料理を提供している。介助の方も出来るだけ自力摂取ができるように見守りを行っている。	法人の栄養士の助言を得ながら、嗜好に配慮し、旬の食材で、個々に応じた食事形態を工夫している。準備や片づけを職員と一緒に行ったりもしている。一人ひとりの誕生日のお祝いや季節の行事・弁当持参での花見など、食事が楽しみなものになるよう工夫している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	季節感のある、又栄養のバランスを考慮し献立を立てている。水分量や食事量のチェックを実施。必要時に栄養士にアドバイスをもらうようにしている。個別にトロミ食や刻み食・ミキサー食・お粥などで対応している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの実施。うがいが出来ない方は口腔スポンジを使用し口腔内の清潔を保持するように努めている。必要時には歯科受診を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	記録などで排泄パターンを把握する。夜間は安心して排泄ができるように環境設備を行い、必要な方はポータブルトイレを使用している。介護計画書の内容に個別に記載している。新規入居者の方の排泄パターンを知る為、入居時より1週間モニタリング行っている。	排泄のリズムを把握し、必要に応じて周りに気づかれないように声かけをし、トイレでの排泄や排泄の自立を支援している。トイレが分かるように案内板が設置されている。排泄用品を減らす取り組みをし、改善がみられた事例がある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄状況を毎日チェックしている。排便が見られない時は、身体を動かしたり、食事内容の工夫、職員による腹部マッサージを実施している。長く排便が見られない時は医師や訪問看護師に報告、相談、指示受けしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	1日の基本的な流れはあるが、ご希望をお訊ねしながら入浴・清拭・足浴等をして頂けるようにしている。入浴剤を使用し気持ちが安らぐようなひと時になるように工夫している。	入浴は、基本的に週3回、午前中になっているが、個々人の体調や希望にそって柔軟に対応している。入浴を拒む利用者には声かけや時間調整をしたり、職員間で連携して会話を通しリラックスして入浴ができるように努めている。ゆず湯などで入浴を楽しめるように支援し、無理強いはしないようにしている。家族と一緒に温泉に出かける利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の活動性が上がるようレクレーションの内容も工夫し参加を促している。夜間、不安になられて休まれない方がいたら飲み物をお出し、ゆっくり話せる環境作りをし、傾聴し安心してから休んで頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬説明書で理解している。医師のご指示通り服薬の支援を行っており、訪問看護師とも連携している。一目で分かる様に一覧表を設置している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	野菜切、料理の盛り付け、食器拭き、洗濯物たたみなどの役割作りをしている。歌や踊りを楽しめる環境づくり。庭で気軽にお茶が楽しめるようにテーブルや椅子などを設置している。個別に生活暦の中から趣味を生かし楽しみ事を見つけられるように支援を行う。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	ご希望に沿ってドライブにお連れしたり・ご家族の協力を頼いての自宅への帰省・自宅周辺の散策・お墓参り等の外出を促している。職員と一緒にゴミ捨ての手伝い、アリエ周辺の散歩、買い物にも出かけたり本人のお好きな物を手に取り、お小遣いの中から購入して頂いています。	日常的には散歩や菜園の手入れ・外気浴を楽しんでいる。個々人の希望で、買い物やドライブ・墓参に出かけたりしている。計画を立てて花見やホタル観賞・ソーメン流し・地域の行事などに出かけている。家族の協力で外食や墓参などの外出支援を行っている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	入居時に、ご希望があれば、御小遣いを上限5千円として、お預かりしている。外出時にお金を自由に使えるようにし、ご本人のご希望にし添えるようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	電話のご希望時、職員が取り次いでお話を聞いて頂いている。遠方のご家族様には、職員よりご本人にお電話をおねがいしたり、お手紙をお願いしたりして取次ぎを行っている。ご本人のご様子をアリエ便りや受け持ちからお手紙でお知らせしている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を探り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	毎日、掃除を行っている。季節感が味わえるようにお花を飾るなどしている。ホールには天窓が有り、沢山の自然光を取り入れられる。トイレは汚れたら直ぐ清掃・消毒を行うようにしている。又芳香剤・消臭スプレーを使用する等の臭い対策をしている。	ホールは広々として、天井が高く天窓があり、自然の灯りを取り入れて、採光や換気・温度・湿度に配慮し清潔である。季節感を大事にした飾りつけがされ、食事を作るところも見え、匂いや音など五感で感じることができる。ウッドデッキがあり日光を浴びるスペースもある。多くのソファーがあり、昼間はホールで過ごす利用者が多く、居心地よく過ごせるような工夫がされている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思に過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファーをホール内に設置している。一人での空間も楽しめるようになっている。庭に椅子やテーブルを設置して、お茶のみや談笑が出来るようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>ご本人とご家族が話合われ、使い慣れたものや好みの物を持ち込んで生活されている。又湯呑・コップ・箸等、馴染みのものも個別に使用している。</p>	<p>居室はエアコンや洗面所・押しづれが備え付けで、ベッドはレンタルである。家具や寝具・仏壇・写真など、使い慣れた物や家族の思いが伝わるもののが持ち込まれ、安心して過ごせるよう配慮されている。必要に応じてポータブルトイレが置かれている部屋もある。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ホール内は要所部分に手すりをつけ、御利用者様が歩行されやすいように環境設備をしていく。又各部屋に洗面所や押入れも設置し、自立に繋がる様に支援している。トイレがわかる様に案内板を設置している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者の
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいの
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいの
		<input type="radio"/>	4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="radio"/>	1 毎日ある
		<input type="radio"/>	2 数日に1回程度ある
		<input type="radio"/>	3 たまにある
		<input type="radio"/>	4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	<input type="radio"/>	1 ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	2 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	3 利用者の1/3くらいが
		<input type="radio"/>	4 ほとんどいない

			1 ほぼ全ての利用者が
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目 : 49)		2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全部面で不安なく過ごせている。 (参考項目 : 30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目 : 28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目 : 9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

			1 ほぼ毎日のように
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目 : 9, 10, 19)		2 数日に 1 回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目 : 4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目 : 11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない